



# 学校だより

令和6年6月28日  
内灘町立清湖小学校

＜校 訓＞ 自愛 友愛 博愛 ＜学校教育目標＞ 共に生きる子の育成

荒海や 佐渡に横たふ 天の川 松尾 芭蕉

## 脚下照顧(きゃっかしょうこ)

校長 坂井 昇

先日、学校にお客様が来校されることがありました。その折に、児童玄関の下足箱を見て、「みんなの靴のかかとが、ぴったりそろっていますね。素晴らしいです。」とおほめの言葉をいただきました。4月から子供たちに話している「あたりまえのさしすせそ」の⑥は、「そろった下足箱」なので、とてもうれしいお言葉でした。

「脚下照顧」という言葉があります。禅宗の寺院でよく見かける言葉です。「足下を見なさい」という意味から転じて、「履き物をそろえましょう」という意味でも使われています。しかし、その真意は深く、「脚下」とは「自分自身」のこと、「照顧」とは、「行いを反省してよく確かめる」ということであり、「自分自身を振り返って、よく見つめ直しなさい」という意味がこめられているそうです。

「灯台下暗し」といわれるように、人は、他人のことはよく分かりますが、自分のことは分かりにくいものです。他人の批判はできても、自分の批判はなかなかできません。他の人のことをとやかく言うより、まず自分を見つめることの大切さを教えてくれる言葉が「脚下照顧」ではないでしょうか。

下の詩は、長野県にある円福寺というお寺の和尚さんだった藤本幸邦（ふじもところほう）さんという方が作った詩です。清湖小の子供たちのはきものがそろい、心がそろい、やさしい心が広がっていくことを願っています。

はきものをそろえる  
はきものをそろえると心もそろう  
心がそろうとはきものがそろう  
ぬぐとくにそろえておくと  
はくときに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきつと  
世の中の人の心もそろうでしょう



1年生が、朝の会の前に、靴のかかとがそろっているか、確かめに来ます。友達の靴も直していた、やさしい1年生もいました。

1, 2, 3年

○2冊目以降のノートの購入について

国語や算数、連絡帳など、ノートのページが少なくなってきました。2冊目以降のノートは、各家庭でご用意していただきたいと思います。ノートの大きさやマス目については、4月に配ったものと同じであれば、表紙はどのようなものでも構いませんので、よろしくお願いします。

**内灘町教育センター 6月教育相談予定**

●公認心理師 高村 梓先生

7月4日(木)・18日(木) 13:30~16:20

●公認心理師 橋本 玲子先生

7月5日(金)・19日(金) 13:30~16:20

※ご希望の方は町教育センター (076-286-5481) までご連絡ください。

**校内相談室 (毎週火曜日)**

スクールカウンセラー 宇根本 聡 先生

**夏休みの予定について**

☆オンライン朝の会 8月6日(水) 8:30~9:00

クロームブックから、Google ミートを使ってオンライン朝の会と平和学習をします。家で8:30になる前にクロームブックで各クラスのクラスルームから Google ミートをひらいて準備しておきましょう。



☆全校登校日 8月24日(木) 8:10~9:00 (8:00~8:10の間に登校)

**服装** ・制服、安全帽子

**持ち物** ・夏休みの宿題(詳細については、学校や学級から後日連絡します)  
・内ばきズック(学校に置いて帰ります)  
・連絡帳・水筒・筆記用具



**☆親子の手紙について**

石川県では、「親子の手紙」という取組を毎年行っており、清湖小学校からも毎年応募しています。日頃、なかなか口にできない親子のそれぞれの思いを「短い手紙」に表現することで、互いの気持ちを理解することや家族の話し合いを大切にしようとする心を高めていただきたいと思います。家族の温かさや家族の会話の大切さなどをもとにした、心の通う手紙をお待ちしております。大人から書いていただくと、それに答える形で子どもたちも書きやすいと思います。

学校でまとめて送りますので、用紙はのり付けせずに、そのまま担任へ提出してください。

**締め切り 7月19日(金)**

※1年生は、初めての「親子の手紙」なので、昨年度のダイジェスト版を配布しました